



つばき

令和2年10月1日発行 第7号

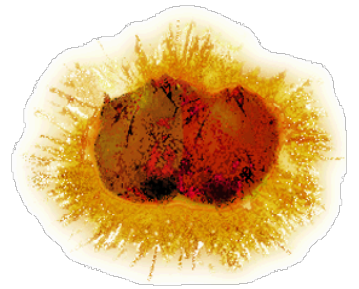
所沢市立椿峰小学校
〒359-1146
所沢市小手指南5-20-1
TEL:04-2948-6601
FAX:04-2948-6602
文責：校長 丸山 謙

秋、何をやるにも適した季節

今日から、いよいよ10月です。秋分の日を境に朝晩が涼しくなり、秋の到来を感じます。

日本にとって、秋という季節はとても大事な季節です。実りの秋という言葉が筆頭に、芸術の、運動の、勉学の、読書の、食欲の…と形容する言葉の多さがそれをものごといています。何をやるにも適した季節であるということでしょう。

「天高く馬肥ゆる秋」という言葉があります。秋の食物の豊富さと季節の美しさを賞賛し感謝の気持ちを表したものです。子どもたちの周りにも柿や栗、さつまいもや里芋等が出回り、おいしい食べ物があふれます。栗は果実をつけるまで植えてから3年間、柿は8年以上もかかると言われます。それは、栗や柿は果実をつけるまで木や幹や枝、葉に養分をつくり蓄積する必要があるからです。子どもたちにも栗や柿のように、小学校6年間、中学校3年間、さらに高校・大学と勉強や運動、そして仲間との交流等を通してたっぷりと栄養を蓄えてほしいと願っています。



学んできました、日光の自然、歴史・文化を!!

9月9日・10日、6年生が修学旅行に行ってきました。コロナ禍で心配される中、実施いたしました。大きな事故もなく無事終了することができました。

初日、天候にも恵まれ、湯ノ湖畔での昼食、湯滝及び華厳の滝見学とほぼ予定通りの行動ができました。ホテルでの生活も、修学旅行ということで多少の興奮で浮き足立つ子どもも少なからずいましたが、体の不調を訴える児童もおらず、しっかりと生活することができました。ただ、夕食の際、マスクを外した状態でおしゃべりをしている子どもが多くいたのは、コロナ禍における特別な修学旅行という自覚を忘れてしまったようでした。このことについて、2日目の朝の集いで学年の教員が時間をかけて話をしました。その後、東照宮ではガイドさんの説明に真剣に耳を傾けての見学、東武ワールドスクエアではオリエンテーリングに意欲的に取り組む姿を見て、子どもたちの心の持ち方も大きく変わったと確信できました。

この2日間の修学旅行で学んだことを今後の学校生活に生かし、学校の中心として頑張ってくれることを期待しています。

